



TITLE:

健康人間学例会記録 (1987年11月  
より2004年3月まで)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

健康人間学例会記録 (1987年11月より2004年3月まで) . 京都大学医  
療技術短期大学部紀要. 別冊, 健康人間学 2004, 16: 56-62

ISSUE DATE:

2004

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/49617>

RIGHT:

## 健康人間学例会記録

(1987年11月より2004年3月まで)

本研究会は京都大学医療技術短期大学部の学内研究プロジェクトの1つとして、1987年11月に発足した。研究会は、1～2ヶ月に1度の割合で開催し、各自の研究テーマについて話題提供し、その話題について参加者それぞれが意見を出し合う形式で行なってきた。この研究会も本年100回を迎え、医療技術短期大学部が医学部保健学科となり、発展的に終了することとなった。16年間の軌跡を下記にまとめる。

研究会準備会 1987年11月20日(金)

- 議題：1. 「健康人間学」の性格の輪郭付け  
2. 今後の協働的研究の具体的な進め方

第1回研究会 1987年12月14日(月)

- テーマ：澤瀉久敬の生命及び健康の思想Ⅰ  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第2回研究会 1988年1月25日(月)

- テーマ：澤瀉久敬の生命及び健康の思想Ⅱ  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第3回研究会 1988年2月16日(火)

- テーマ：西田哲学の生命論Ⅰ  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第4回研究会 1988年3月22日(火)

- テーマ：西田哲学の生命論Ⅱ  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第5回研究会 1988年4月25日(月)

- テーマ：西田哲学の生命論Ⅲ  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第6回研究会 1988年5月23日(月)

- テーマ：小児看護教育における健康人間学へのアプローチ  
発表者：近田敬子(看護学科)

第7回研究会 1988年6月24日(金)

- テーマ：事例を通して「健康」を探る—作業療法の立場から—  
発表者：木村信子(作業療法学科)

第8回研究会 1988年7月22日(金)

- テーマ：「健康ということ」—「ハイジ」『秘密の花園』を中心に—  
発表者：加茂映子(教養科，英文学)

第9回研究会 1988年9月16日(月)

- テーマ：「我と汝」について  
発表者：伊藤好美(看護学科)

第10回研究会 1988年11月4日(金)

- テーマ：「欲望と願望」について  
発表者：片山由美(看護学科)

第11回研究会 1989年1月23日(月)

- テーマ：ヨーロッパの健康科学  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

第12回研究会 1989年2月23日(木)

- テーマ：心と体のリラックス法—ヨガを中心として—  
発表者：大橋ミツ(教養科，心理学)

第13回研究会 1989年3月24日(金)

- テーマ：天台止観の健康論  
発表者：石井誠士(教養科，哲学)

発表者：竹之熊淑子（看護学科）

第14回研究会 1989年4月24日（月）

テーマ1：ケア—言葉と事柄として

発表者：石井誠士（教養科，哲学）

テーマ2：ミルトン・メイヤロフのケア論

発題者：藤原治美（看護学科）

第23回研究会 1990年7月13日（金）

テーマ：院内感染について

発表者：岸下雅通（衛生技術学科）

第15回研究会 1989年5月26日（金）

テーマ：人間関係あるいは社会関係について  
—教育の場合と医療の場合—

発表者：岡田敬司（一般教養，教育学）

第24回研究会 1990年10月8日（月）

テーマ：「師」と「士」—中国の医療の体験から—

発表者：木村信子（作業療法学科）

第16回研究会 1989年6月29日（木）

テーマ：日本のケアの歴史

発表者：丸山咲野（看護学科）

第25回研究会 1991年1月18日（金）

テーマ：「あいだ」

木村敏著『あいだ』（弘文堂刊，1988年）の検討

第17回研究会 1989年7月17日（月）

テーマ：支え合うことの意味

発表者：松本雅彦（作業療法学科）

第26回研究会 1991年2月15日（金）

テーマ：「あいだ」

木村敏著『あいだ』（弘文堂刊，1988年）の検討

第18回研究会 1989年9月29日（金）

テーマ：医療技術の弁明—ヨーロッパの技術  
概念（teshne, ars, technology 等）を  
手掛かりに—

発表者：石井誠士（教養科，哲学）

第27回研究会 1991年2月22日（金）

テーマ：「生命」

発表者：木村敏（本学医学部精神科）

第19回研究会 1989年10月27日（金）

テーマ：精神医学の流れ

発表者：松本雅彦（作業療法学科）

第28回研究会 1991年7月25日（木）

テーマ：身体と環境—ベルリン労働医学学会  
に参加して—

発表者：石井誠士（一般教育，哲学）

第20回研究会 1989年11月24日（金）

テーマ：らい医療の流れ—病む人々とケア—

発表者：尾坂良子（看護学科）

第29回研究会 1991年9月20日（金）

テーマ：フランス精神医療について

発表者：松本雅彦（作業療法学科）

第21回研究会 1990年1月30日（火）

テーマ：出産とケア

発表者：三浦昌子（看護学科）

第30回研究会 1991年10月25日（金）

テーマ：大学生のパーソナリティー—本学1回  
生へのアンケート調査による—

発表者：菅 佐和子（一般教育，心理学）

第22回研究会 1990年2月23日（金）

テーマ：「セルフケア」について—主として  
運動に目を向けながら—

第31回研究会 1991年11月29日（金）

テーマ：ヨーガと健康

- 発表者：カシナータ（オームヨーガ道場道主）
- 第32回研究会 1992年1月31日（金）  
テーマ：「ふれあう」生き方  
発表者：山根 寛（作業療法学科）
- 第33回研究会 1992年2月28日（金）  
テーマ：研究会のこれまでと今後
- 第34回研究会 1992年3月18日（水）  
テーマ：具体的活動方針について
- 第35回研究会 1992年5月21日（木）  
テーマ：中村雄二郎著『臨床の知とは何か』を読む①  
発表者：若村智子（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ
- 第36回研究会 1992年7月23日（木）  
テーマ：中村雄二郎著『臨床の知とは何か』を読む②  
発表者：内田宏美（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
各学科の進行状況の確認
- 第37回研究会 1992年10月8日（木）  
テーマ：中村雄二郎著『臨床の知とは何か』を読む③  
発表者：任 和子（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
今後の方針
- クレペリンリサーチ学習会1992年11月19日（木）  
テーマ：クレペリン検査の解説  
講師：瀬尾直久（日本・精神技術研究所）
- 第38回研究会 1992年12月17日（木）  
テーマ：丸田俊彦著『痛みの心理学』を読む①  
発表者：猿田裕子（看護学科）
- 第39回研究会 1993年1月21日（木）  
テーマ：丸田俊彦著『痛みの心理学』を読む②  
発表者：猿田裕子（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
解析処理結果と今後の方針
- 第40回研究会 1993年3月18日（木）  
テーマ：研究会のこれまでと今後  
共同研究：クレペリンリサーチ  
データの読み方についての学習会
- 第41回研究会 1993年5月28日（金）  
テーマ：神経性食欲不振症について  
発表者：中井義勝（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
データ解析結果と考察
- 第42回研究会 1993年7月9日（金）  
テーマ：ICM 大会報告と助産婦教育の抱える問題について  
発表者：池田浩子（助産学専攻科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
データ解析結果と考察
- 第43回研究会 1993年9月24日（金）  
テーマ：看護学生の自我同一性と性役割観  
発表者：祖父江育子（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
各学科の論文の検討
- 第44回研究会 1993年12月3日（金）  
テーマ：ターミナルケアの現状とその課題—特にビハラー設立の経緯とその課題—  
発表者：藤腹明子（看護学科）  
共同研究：クレペリンリサーチ  
研究のまとめ、今後の方針
- 第45回研究会 1994年1月27日（木）  
テーマ：狭心症の功罪

発題者：藤田正俊（衛生技術学科）

第46回研究会 1994年2月24日（木）

演題：“Problems in contemporary Swedish health care and how they are dealt with”

講師：Dr. Anders Eklund（Karolinska Institute, Stockholm）

通訳：小西紀一（作業療法学科）

第47回研究会 1994年5月19日（木）

テーマ：免疫についての基本的知識・考え方

発題者：熊谷俊一（衛生技術学科）

第48回研究会 1994年7月22日（金）

テーマ：免疫についての基本的知識・考え方  
Ⅱ

発題者：熊谷俊一（衛生技術学科）

第49回研究会 1994年9月16日（金）

テーマ：生体部分肝移植の現状と展望

発題者：稲本 俊（看護学科）

第50回研究会 1994年11月24日（木）

テーマ：音楽療法について

発題者：小西紀一（作業療法学科）

第51回研究会 1995年1月20日（金）

テーマ：アメリカ現代詩人シルヴィア・プラ  
スの自伝小説 The Bell Jar を読む

発題者：加茂映子（一般教育）

第52回研究会 1995年5月31日（水）

テーマ：臨床実習中、不適応症状を呈した学  
生とグループダイナミクス

発題者：中井義勝，豊田久美子，任 和子  
（看護学科）

第53回研究会 1995年7月7日（金）

テーマ：過渡期にある『家族』をめぐる一  
妻と母親の板ばさみに悩む男性の事

例一

発題者：菅 佐和子（一般教育）

第54回研究会 1995年8月26日（土）（夏期特  
別研究会）

テーマ1：脳についての最近のトピックス

発題者：下野登士男（一般教育）

テーマ2：癒しの原理について

発題者：石井誠士（兵庫県立看護大学）

第55回研究会 1995年9月22日（金）

テーマ：感覚統合療法について一症例を通し  
て一

発題者：小西紀一，加藤寿宏（作業療法学  
科）

第56回研究会 1995年11月24日（金）

テーマ：医療系教育における人類学的視点の  
重要性について

発題者：近藤功行（川崎医療福祉大学）

第57回研究会 1996年2月8日（木）

テーマ：不老長寿一分子の目から見た老い一

発題者：浅野仁子（一般教育）

第58回研究会 1996年3月8日（金）

テーマ：イギリスの医療施設を見学して

発題者：中嶋律子，任 和子（看護学科）

第59回研究会 1996年5月17日（金）

テーマ：母親への過渡期の女性の自己概念の  
変容に対する助産婦学生の認識

発題者：山崎あけみ（助産学特別専攻科）

第60回研究会 1996年7月19日（金）

テーマ：双子の親の会「ツインスターズ」の  
活動について

発題者：服部律子（看護学科）

第61回研究会 1996年9月1日（日）（夏期特  
別研究会）

- テーマ1：生む風景，生まれる風景  
発題者：加茂映子（一般教育）  
テーマ2：摂食障害をめぐって  
発題者：中井義勝（看護学科），松本雅彦（作業療法学科）
- 第62回研究会 1996年11月29日（金）  
テーマ：医療技術とインターネット  
発題者：笹山 哲（衛生技術学科）
- 第63回研究会 1997年1月24日（金）  
テーマ：肝臓の話—最近のトピックス  
発題者：福田善弘（衛生技術学科）
- 第64回研究会 1997年3月13日（木）  
テーマ：スポーツ随想  
発題者：川井 浩（一般教育）
- 第65回研究会 1997年6月11日（水）  
テーマ：女性の Self-Esteem について—臨床  
とリサーチから—  
発題者：菅 佐和子（一般教育）
- 第66回研究会 1997年10月2日（木）  
テーマ：Problem-Based Learning について  
発題者：任 和子（看護学科）
- 第67回研究会 1997年12月3日（水）  
テーマ：難病をとまなう人の作業療法について  
発題者：赤松智子（作業療法学科）
- 第68回研究会 1998年2月19日（木）  
テーマ：在宅ケアの作業療法  
発題者：早川宏子（作業療法学科）
- 第69回研究会 1998年3月13日（金）  
テーマ：産痛の解明  
発題者：我部山キヨ子（助産学特別専攻科）
- 第70回研究会 1998年6月25日（木）
- テーマ：精神科作業療法について  
発題者：腰原菊恵（作業療法学科）
- 第71回研究会 1998年7月30日（木）  
テーマ：「こころのありか—分裂病の精神病理」（松本雅彦著，日本評論社刊）を読む  
Part I [プロローグ・妄想・幻覚・発症をめぐって (1)]
- 第72回研究会 1998年10月1日（木）  
テーマ：「こころのありか—分裂病の精神病理」（松本雅彦著，日本評論社刊）を読む  
Part II [分裂病の発症をめぐって (2) (3)・初診の風景]
- 第73回研究会 1998年12月3日（木）  
テーマ：「こころのありか—分裂病の精神病理」（松本雅彦著，日本評論社刊）を読む  
Part III [精神分裂病の周辺，診断・予後・経過，エピローグ]
- 第74回研究会 1999年2月4日（木）  
テーマ：英国の介護の風景  
発題者：加茂映子（一般教養）
- 第75回研究会 1999年6月3日（木）  
テーマ：血液の働き  
発題者：笹田昌孝（衛生技術学科）
- 第76回研究会 1999年7月31日（土）・8月1日（日）  
テーマ1：仏教ビハラー  
発題者：田宮 仁（飯田女子短期大学）  
テーマ2：連歌とコミュニケーション  
発題者：光田和伸（国際日本文化研究センター）  
テーマ3：ヴァージニア・ウルフ  
発題者：加茂映子（一般教養）

第77回研究会 1999年9月30日(木)  
テーマ: 4年制大学の教育に関わって  
今思うこと  
発題者: 任 和子(名古屋大学)

第78回研究会 1999年12月2日(木)  
テーマ: 医療と倫理  
発題者: 伊藤 均(一般教養非常勤)

第79回研究会 2000年1月26日(水)  
テーマ: 医療と福祉の連携のあり方  
発題者: 奥津文子(看護学科)

第80回研究会 2000年5月11日(木)  
テーマ: 音楽療法について  
発題者: 小西紀一(作業療法学科)  
ピアノ演奏: 大塚研一(総合教育)

第81回研修会 2000年7月29日(土)・30日(日)  
テーマ: ミニ・シンポジウム  
「それぞれの現場での健康人間学」  
「外傷体験と集団精神療法」から  
発題者: 田原明夫(作業療法学科)

第82回研究会 2000年10月17日(火)  
テーマ: 精神障害の行動評価尺度 Rehab の  
実際  
発題者: 田原明夫(作業療法学科)

第83回研究会 2000年12月21日(木)  
テーマ: 結婚の不自由  
発題者: 山田 亮(非常勤講師)

第84回研究会 2001年3月28日(水)  
テーマ: 育児と児童虐待  
発題者: 岡島文恵(看護学科)

第85回研究会 2001年5月29日(火)  
テーマ: 精神障害者の就労支援  
発題者: 腰原菊恵(作業療法学科)

第86回研究会 2001年9月5日(水)  
テーマ: 精神障害者に対する就労支援—紀南  
市におけるジョブコーチとグループ  
ホームについて—  
発題者: 種村留美(作業療法学科)

第87回学習会 2001年12月7日(金)  
テーマ: 連歌について  
発題者: 光田和伸(非常勤講師)

第88回研究会 2002年2月13日(水)  
テーマ: 地域リハビリテーション  
発題者: 小野 泉(作業療法学科)

第89回研究会 2002年3月27日(水)  
テーマ: 固定化酵素の臨床化学分析への応用  
発題者: 田畑勝好(衛生技術学科)

第90回研修会 2002年6月25日(火)  
テーマ: 感染・免疫と看護  
発題者: 齋藤ゆみ(看護学科)

第91回研究会 2002年11月5日(火)  
テーマ: スウェーデン医療、福祉の今—施設  
紹介から—  
発題者: 赤松智子(作業療法学科)

第92回研究会 2002年12月20日(金)  
テーマ: スリランカの医療と看護  
発題者: 奥津文子(看護学科)

第93回研究会 2003年3月20日(木)  
テーマ: 多胎児研究の歩み  
発題者: 横山美江(看護学科)

第94回研究会 2003年5月22日(木)  
テーマ: 茶道について  
発題者: 大塚研一(総合教育)

第95回研究会 2003年7月15日(火)  
テーマ: 在宅療養者の居住環境と生活リズム

の関係性

発題者：宮島朝子（看護学科）

第96回研究会 2003年9月30日（火）

テーマ：アメリカ研修の報告

発題者：斉藤ゆみ（看護学科）

第97回研究会 2003年12月2日（火）

テーマ：学生の手先の不器用さと対人関係の  
持ち方の因果関係

発題者：奥津文子，赤澤千春（看護学科）

第98回研究会 2004年1月30日（金）

テーマ：精神科作業療法について

発題者：岩佐順子（京大病院精神科神経科）

第99回研究会 2004年3月2日

テーマ：今までを振り返って

発題者：中村紀士子（衛生技術学科）

第100回研究会 2004年3月24日

テーマ：「健康人間学への思い」—専門性・連  
携・ねぎらいの言葉—

発題者：田原明夫（作業療法学科）

この研究会を行う際には、事前に前回の研究会の報告と、次回の研究会の知らせを兼ねた案内を毎回配布してきた。この案内は、若村（元看護学科），任（元看護学科），腰原（作業療法学科）が受け継ぎながら全教官に配布し，その記録も引き継いできた。報告は，研究会の内容，参加時の感想，触発された考えなど，それぞれの研究会の様子を伝える内容であった。